

かいづ 海津にいな



生き活き7プラン

生き活きと、安心して暮らせる街に!



(1) 徹底した情報公開と説明責任

継続性が行政の得意分野なら、時代の変化に柔軟に対応していくための鍵は市民力。今、本当に求められているものは何なのか、優先順位を決めるのは市民です。市民との対話を重視し、情報を共有化して市民の意見を反映するしくみを充実させます。「市民でできることは市民の力で」をサポートします。財政の健全化をすすめ、首長、議員、委員会の報酬なども見直します。

を充実させます。「市民でできることは市民の力で」をサポートします。財政の健全化をすすめ、首長、議員、委員会の報酬なども見直します。

(2) 生き活き暮らすためのセーフティネットを充実

生活者の視点で税金の使い方を見直します。何よりも「住民の福祉と健康を守ること」が地方自治の本旨です。基礎自治体の責務として介護保険や国民健康保険の健全化と社会保障制度の充実を国・県に求めるとともに、独居問題の施策もすすめます。まちづくりにおいて「健康」を最も重要なことに位置づけ、健康づくりに取り組みます。



川崎市ヘルスアップ事業を視察

(3) 学び、支えあう地域づくり

大人の後姿を見て子どもたちが育つのです。子育て世代、団塊の世代、人生経験豊かな高齢者が、障がい者が、男女ともに生き活きと学び、実践し、そして支えあう地域へ。様々な人のまちづくりへの参加を奨励するような芸術・文化・教育の場である市民会館の再建を広域利用でめざします。

(4) 子育て支援、行き届いた教育環境を整備

子どもは地域の宝もの、未来を担う青少年が楽しく夢を持てる社会でありたい。我孫子には、多くの文化・社会的資源があります。それらを教育や子育てに最大限に活かします。小児救急医療体制の充実、地域の子育てサポートを充実させます。国際人教育、外国語学習機会の充実、子ども議会、青少年のための居場所づくりをすすめます。



つくし野幼稚園視察

(5) 地域起業の支援、住みよいまちづくり

実直に働く事が尊敬されるまちでありたい。シニア世代が定年後、豊富な経験を生かして地域起業や、活躍できる環境をつくりたい。障がい者・若年就業支援、ひとり親家庭の自立支援をすすめます。JR成田



近隣の特養施設の実情調査

線・常磐線の交通および駅の利便性の向上を図るため、エコツーリズム(観光)による交流人口増加、地元商店の活性化をすすめます。国家戦略特区(成田市)とも連携、地方創生に取り組めます。

(6) 資源循環型社会をめざす

地球環境を守ることは、私たちの小さな小さな積み重ねから。ごみは燃やすのではなく活かす方で減量をすすめ、老朽化焼却炉も見直します。地球温暖化防止市民条例を制定し、我孫子バイオマスタウン構想(地球に優しい有機的エネルギーや自転車利用)をすすめます。食の安全と自然の恵みを実感できる、地産地消を推進します。



古利根沼のクリーン作戦参加して

(7) 平和で安心・安全の我孫子市に!

市民の安心と安全を守るのは行政の大前提。防災に強いまちづくりをすすめ、災害弱者を地域で救う「命のネットワーク」を構築します。平和条例の意義が理解され条例制定できたので、今後は平和行政を推進し青少年の平和・国際理解活動をすすめ、国内外へ友好と国際平和をすすめる市民使節団を派遣します。



憲政会館のシンポジウム



手賀沼公園にて平和祈念式典

